

ソフトウェア品質シンポジウム2026

投稿のすすめ

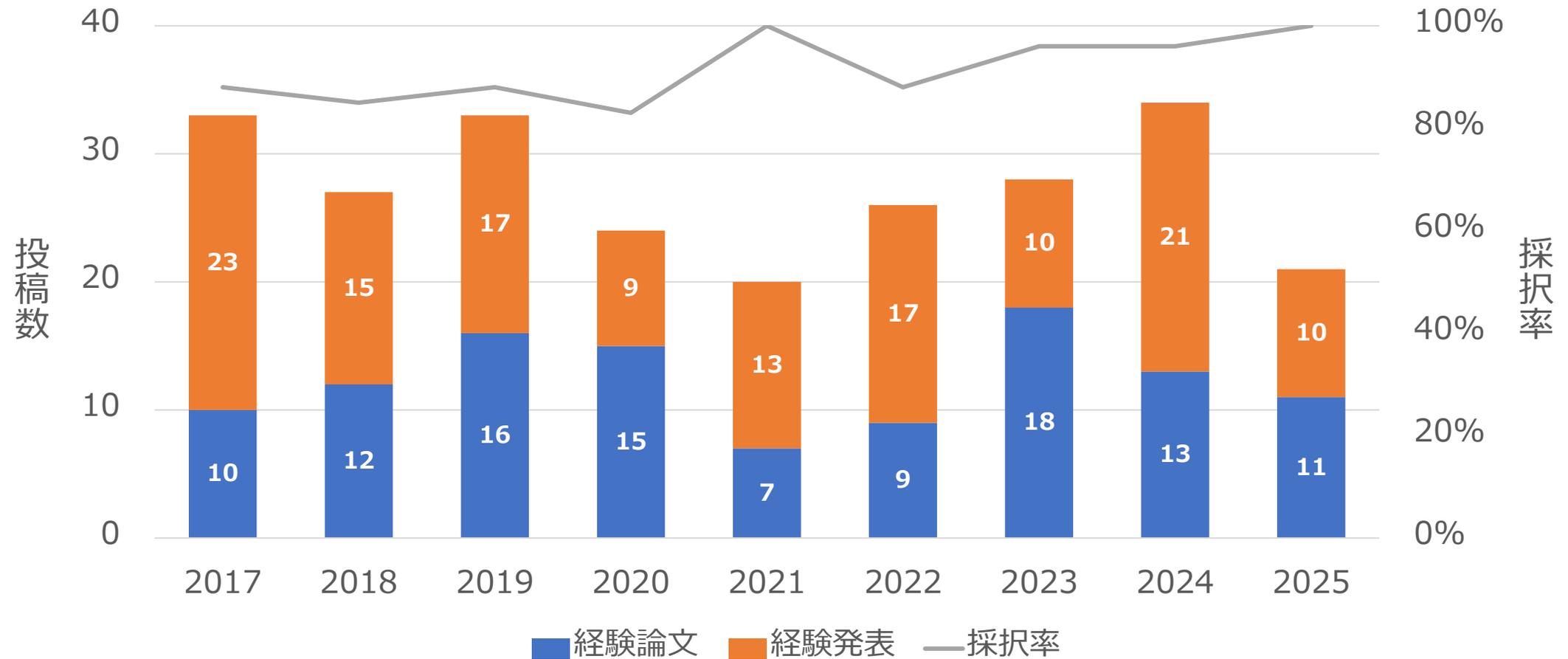
～応募要項とアブストラクト投稿のコツについて～

町田 欣史

ソフトウェア品質シンポジウム 2026 委員
株式会社NTTデータグループ

過去9年の投稿数・採択率の推移

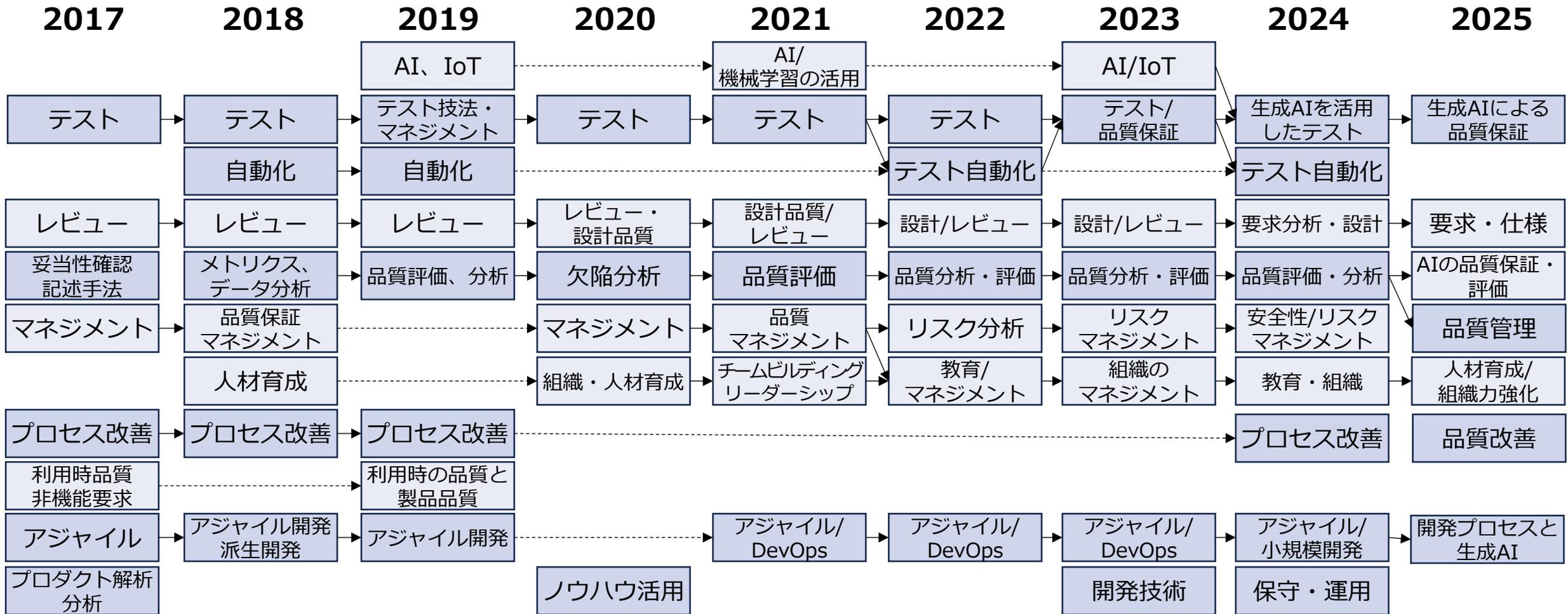
最近はおおよそ30件前後の投稿があります



(注) 2025年は1件辞退を含む

過去9年の投稿テーマ（一般発表セッション）

伝統的なテーマに加えて新しいテーマも増えています



募集テーマ

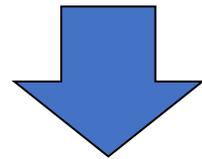
少しでも品質に関わるものであればOKです

テーマ	例
要求やシステム開発などに関連した観点	要求工学、要件管理、システム開発と業務改善、ベンダとの協調、保守・運用、SLA、SLM、ITIL、など
ソフトウェア開発技術の観点	アジャイル開発、派生開発・プロダクトライン、形式手法、モデル検査、設計品質、アーキテクチャ品質、コーディング規約・作法、など
マネジメント技術の観点	オフショア開発、プロジェクトマネジメント、リスク管理、モチベーション・コミュニケーション、パートナーとの進め方、スキル・キャリア、人材育成、教育／トレーニング、小集団活動、など
品質管理・テスト技術の観点	テスト技術、レビュー、デバッグ、プロセス改善、CMMI/ISO15504、監査、QMS構築、構成管理、メトリクス、不具合管理、受け入れ検査、品質の定量的把握(予実管理・EVM)、など
 本シンポジウムでの既発表の内容をもとに追加・改善	既発表の内容をもとに追加や改善した点を投稿してください

投稿区分

経験論文と経験発表の2つの区分があります

- 経験論文
 - 論文を投稿いただきます（A4判 8ページ以内）。
- 経験発表
 - パワーポイント等で作成した発表スライドを投稿いただきます。



- どちらの区分の場合も、**はじめにアブストラクトを投稿**していただき、査読します。
- 採録の基準に違いはありません。

アブストラクト投稿の方法

いずれの方法でもWordのテンプレートに記入いただきます

1. 論文管理システム（EasyChair）

- 多くの学会等で使われている論文投稿システムです。
- 使い方をまとめたガイドラインを公開しています。
- アブストラクトのテンプレートをEasyChair上からダウンロードいただき、それに記入の上、アップロードしてください。

（1を使用できない場合）

2. メール送付

- シンポジウムのサイトからアブストラクトのテンプレートをダウンロードいただき、それに記入の上、メールにて送付してください。

アブストラクトのテンプレート

A4サイズ2ページを目安としてください

<p>【アブストラクト記入用紙】</p> <p>※アブストラクト執筆に際しての注意事項 ①図表を含め、A4サイズ2枚程度を目安におまとめください。 ②方が一、上記容量をオーバーする場合はページを追加ください。</p>
<p>1. ねらい</p> <p>今回紹介する方法で、解決しようとする問題あるいは研究・開発の目標・目的について記してください。</p>
<p>2. 実施概要</p> <p>実施方法について工夫した点がわかるように記述してください。 1で述べられた問題を改善できることが分かるように記してください。 ・適用した(適用しようとしている)考え方や理論を具体的に記載ください。 ・上記の考え方や理論をどのように適用した(適用しようとしている)のか、工夫点など、できる限り具体的に記載ください。</p>

<p>3. 実施結果</p> <p>2の実施によって得られた効果について(できるだけ具体的に)概説してください。</p>
<p>4. 結論</p> <p>問題解決の度合い、今後の展開への期待などを主張してください。</p>

アブストラクトの記述項目

ご自身が主張したいことや工夫したことを盛り込んでください

1. ねらい
 - 解決しようとする問題あるいは研究・開発の目標・目的を書いてください。
2. 実施概要
 - 工夫した点が分かるように書いてください。
 - 1で述べられた問題点を改善できることが分かるように書いてください。
 - **できるだけ具体的に書いてください。**
3. 実施結果
 - 得られた効果について、できるかぎり具体的に書いてください。
4. 結論
 - 問題解決の度合い、今後の展開への期待などを主張してください。

審査方法

著者が誰か分からない状態で公平に審査します

- 査読者
 - 1つの投稿につき3名で査読します。
 - 3名の査読者の専門領域が偏らないようにします。
 - 著者と利害関係のある者は査読しません（事務局にて判断し、査読対象から除きます）
- 査読方法
 - 査読者は投稿の著者（共著者）やその所属が分からない状態で査読します。
- 採録の条件
 - 査読者の評価を総合して、一定の水準を超えていると判断した投稿を採録します。
 - 全体としての採録数の制限は設けていません。

評価の基準

複数の観点から総合的に評価します

1. 有用性

- 多くの人にとって役に立つ内容かどうかを評価します（新規性・独自性も含む）。

2. 信頼性

- 定量データなどを用いて主張の正しさを客観的に示してください。
- アブストラクト投稿時点で結果が出ていない場合は、見込みを書いてください。

3. 構成と読みやすさ

- 最低限の推敲をして、適切な分量で記述してください。
- 論理展開を明確にしてください。

4. その他

- 既発表を基にする場合、既発表の文献を引用し、追加・改善した点を明確にしてください。

二重投稿禁止！

Award (表彰)

5つの賞を設けています

- 審査委員会が選ぶ賞

	実践的で、現場で品質向上にすぐに役立つもの	将来役に立つ可能性を秘めているもの
経験論文	SQiP Best Paper Effective Award	SQiP Best Paper Future Award
経験発表	SQiP Best Report Effective Award	SQiP Best Report Future Award

※該当なし、または複数選定される場合もあります。

- 参加者が選ぶ賞

もっとも分かりやすく、効果的なもの

SQiP Best Presentation Award

さいごに

たくさんのご投稿をお待ちしております

- アブストラクトに対しては、投稿の良かった点、改善すべき点などをコメントしてお返しします。採録決定後のブラッシュアップや今後のステップアップに活用してください。
- シンポジウムで発表すると、多くの方からご意見、ご質問、アドバイス、参考情報などをいただけます。
- 従来の手法に対するちょっとした工夫や改善でも構いませんので、ご自身のやったことを振り返り、アピールする場として活用してください。

ソフトウェア品質シンポジウム2026

Thank you!